

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校福祉リソースカレッジ広島
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	精神保健福祉学科	夜・通信	210 時間	80 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校のホームページにて公表
 本校ホームページ → 情報公開 → 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
 下記の URL から閲覧可能
https://furusawa.com/fukushi/images/report/2024_class_list.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校福祉リソースカレッジ広島
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページ → 情報公開 → 学校法人古沢学園 役員名簿
 下記の URL から閲覧可能
https://furusawa.com/fukushi/images/report/r6_04_01_executivelistr.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元 株式会社 顧問 元 広島市 助役	R6.3.18～ 令和7年度 の定時評議 員会終結時 まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役	R6.3.18～ 令和7年度 の定時評議 員会終結時 まで	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校福祉リソースカレッジ広島
設置者名	学校法人 古沢学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)の作成過程 毎年、シラバス掲載内容の確認を行い、各授業担当責任者が掲載内容に沿ったシラバスを作成、職員会議等で掲載内容が到達目標等に沿った授業スケジュールであるかを精査している。 ・授業計画の作成・公表時期 3月下旬に作成、4月初旬の年度始めに本校ホームページにて公表している。また、学生には授業開始前に公表している。 <p>※授業科目の公表方法 入学時オリエンテーションにて学生へ教育課程表(授業科名、講義・演習・実習の例)を配布、授業開始前に学生全員へ時間割の配布、各授業のオリエンテーションにて授業概要(シラバス)の説明をしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生への配布、本校のホームページにて公表 下記のURLから「授業計画(シラバス)」を閲覧可能 https://furusawa.com/fukushi/images/report/2024_syllabus_psw.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の到達目標に到達できたかを、授業概要(シラバス)掲載の成績評価方法(期末試験60%、小テスト・レポート20%、出席状況・授業態度10%等)によって、成績評価基準に基づいた厳格な成績評価(優(A)、良(B)、可(C)、不可(D))により4段階評価を行っている。</p> <p>実習に関しては、実習施設による評価点(利用者理解、ニーズ把握、利用者との援助関係の形成、個別支援計画等)、学校での評価点(実習記録、実習巡回指導、実習総括の発表)を参考に成績評価(優(A)、良(B)、可(C)、不可(D))の4段階評価を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

○客観的な指標の算出方法について

本校における学業成績評定の客観的な指標について、平素の学習状況(態度・取組・提出物)や試験結果を総合して100点満点をもって示し、評定は優、良、可及び不可の4種類とし、区分は下記のとおりとする。

優：80点以上 良：70～79点 可：60～69点 不可：59点以下

○成績の分布状況について

履修科目で取得した評価点の合計を履修科目数で割って平均値を算出し、学生個人の成績順位等について把握をしている。

○平均値の算出方法

履修科目で取得した評価点の合計

(1科目あたり100点満点)

履修科目数

客観的な指標の
算出方法の公表方法

本校のホームページにて公表

本校ホームページ → 情報公開 → 成績評価における客観的な指標 下記のURLから閲覧可能

https://furusawa.com/fukushi/images/report/2024_grad_e.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

<ディプロマポリシー>

本校は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、社会福祉士及び介護福祉士法、並びに精神保健福祉士法に従い、専門的な知識及び技能を修得させ、もって社会福祉及び文化教養の増進に寄与する人材を育成するための専門的教育を行う事を目的とする。また、心技一体の教育理念に基づき、自主性・主体性・行動力を培い、精神保健福祉士として望ましい専門性、専門職としての価値、対人援助職としての実践力を身につけるよう指導している。具体的には以下のような能力を身につけ、卒業認定会議にて認定を受けた学生は、卒業が認定される。

- ・精神保健福祉士の専門性、およびその価値を理解している。
- ・精神保健福祉士倫理綱領を理解している。
- ・精神疾患に関する知識及び、それに起因する障害に関する知識を身につけている。
- ・我が国及び諸外国における精神障害者への処遇に関する歴史、および現状について理解している。
- ・ソーシャルワークの歴史、理論および実践を理解している。
- ・クライアントの支援に必要な社会制度・福祉サービスを理解している。
- ・対人援助職として求められる面接技術を修得している。
- ・精神科専門療法、精神科リハビリテーションに関する知識を修得している。

<卒業の要件、卒業判定の手順>

カリキュラムの総時間数は1,266時間である。精神保健福祉士受験資格を得るための時間数(1,200時間)に加え、進路演習30時間、H.R.活動16時間、国家試験対策20時間(計66時間)を実施している。

卒業の判定は、入学時配布の「学生心得」にて公表している卒業の要件に満たした者を対象に、学校長、教務及び学科教員による卒業認定会議において学校長が認定を行う。

卒業判定の結果は、本人及び保護者へ直接通知している。

【学生心得抜粋】

卒業の要件

1. 各教科の出席率が80%以上であること。全体の出席率が90%以上であること。
2. ソーシャルワーク実習において規定の時間全て実習を行うこと。
3. 科目の評定に「不可」がないこと。
4. 未納金のないこと。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

本校のホームページにて公表
本校のホームページ → 情報公開 → 卒業の認定に関する方針
下記のURLから閲覧可能
https://furusawa.com/fukushi/images/report/2024_diplomapolicy.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校福祉リソースカレッジ広島
設置者名	学校法人 古沢学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ→財務情報の公開 http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ→財務情報の公開 http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
財産目録	本校ホームページ→財務情報の公開 http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
事業報告書	本校ホームページ→財務情報の公開 http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html
監事による監査報告（書）	本校ホームページ→財務情報の公開 http://www.hcu.ac.jp/guide/zaimu.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	精神保健福祉学科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1200 単位時間/単位	900 単位時間/単位	156 単位時間/単位	210 単位時間/単位	1266 単位時間/単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
35人	7人	0人	6人	11人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 毎年、シラバス掲載内容の確認を行い、各授業担当責任者が掲載内容に沿ったシラバスを作成し、職業会議等で掲載内容が到達目標等に沿った授業スケジュールであるかを精査している。授業計画は3月下旬に作成し、各学年授業開始前に学生へ公表している。 入学年度オリエンテーションにて学生へ教育課程表（授業科目名、講義・演習・実習の別）を配布、授業開始前に該当学科学生全員へ当該年度時間割の配布、各授業のオリエンテーションにて授業概要（シラバス）の説明をしている。
成績評価の基準・方法

(概要)
 授業計画の目標到達できたかを、授業概要（シラバス）掲載の成績評価方法（期末試験 60%、小テスト・レポート 20%、出席状況・授業態度 20%等）によって、成績評価基準に基づいた厳格な成績評価（優（A）、良（B）、可（C）、不可（D）により 4 段階評価を行っている。

実習に関しては、実習施設による評価点（利用者理解、ニーズ把握、利用者との援助関係の形成、個別支援計画等）、学校での評価点（実習記録、実習巡回指導、実習総括の発表）を参考に、成績評価（優（A）、良（B）、可（C）、不可（D）の 4 段階評価を行っている。

卒業・進級の認定基準

(概要)
【学生心得抜粋】
 卒業要件
 1. 各科目の出席率が 80%以上であること。全体の出席率が 90%であること。
 2. ソーシャルワーク実習において規定の時間全て実習を行うこと。
 3. 科目の評定に「不可」がないこと。
 4. 未納金のないこと。
 <ディプロマポリシー>
 本校は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、社会福祉士及び介護福祉士法、並びに精神保健福祉士法に従い、専門的な知識及び技能を修得させ、もって社会福祉及び文化教養の増進に寄与する人材を育成するための専門的教育を行う事を目的とする。また、心技一体の教育理念に基づき、自主性・主体性・行動力を培い、精神保健福祉士として望ましい専門性、専門職としての価値、対人援助職としての実践力を身につけるよう指導している。具体的には以下のような能力を身につけ、卒業認定会議にて認定を受けた学生は、卒業が認定される。

- ・精神保健福祉士の専門性、およびその価値を理解している。
- ・精神保健福祉士倫理綱領を理解している。
- ・精神疾患に関する知識及び、それに起因する障害に関する知識を身につけている。
- ・我が国及び諸外国における精神障害者への処遇に関する歴史、および現状について理解している。
- ・ソーシャルワークの歴史、理論および実践を理解している。
- ・クライアントの支援に必要な社会制度・福祉サービスを理解している。
- ・対人援助職として求められる面接技術を修得している。
- ・精神科専門療法、精神科リハビリテーションに関する知識を修得している。

学修支援等

(概要)
 クラス担任制を導入することで、学生の学生相互の関わりや担任との信頼関係を深め、学習意欲を把握していく。また、学生部による進路希望調査や個別面接を通し、学習意欲につなげる。国家試験受験に向けて、試験対策授業を行い、問題演習や対策授業で成績を把握し、個別指導を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	0 人 (0.0%)	10 人 (90.9%)	1 人 (9.1%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>精神科病院等の医療分野、就労支援事業所、社会福祉協議会等</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>入学直後から学生一人ひとりに希望と特性を考慮しながらキャリアサポートを行っている。ボランティア活動や実習などを通して将来像を明確化していく。並行して、担任と進路指導担当者による個別面談を定期的に行い、目標設定し、自分の特性や個性を最大限に活かすことができる就職先を選定する。求人票の書面だけで判断せず、事業所内を訪問、見学・体験することで自分に適しているかを確認する。そうすることで、就職後のミスマッチを防ぎ、多くの卒業生が医療・福祉現場でベテラン職員をして定着している。本校は就職率だけではなく、その後の職場定着を視野に入れた指導・支援に力を入れているので、卒業生と学校との関わりも深い。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>精神保健福祉士国家試験受験資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・学生一人ひとりを大切に、全教職員が関わる教育 <p>不登校の経験がある学生や、心に重いものを背負った学生、対人関係を苦手とする学生等も自分の居場所を見つけ、教職員や他の学生とのふれあいの中で、安心感を得ながら学ぶことができるよう配慮している。経験豊富な教職員により、学生に自信を持たせ、学校生活を楽しめるように学生一人ひとりを大切に教育を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制の導入 <p>学生同士が基本的なマナーとチームワークを意識し、お互いに学びあい支えあることを大切にした学級運営を行っている。学生相互の関わりは、学習意欲だけでなく、同じ目的をもつ仲間として就業意識も高める効果につながる。また、担任をはじめとする全教職員の関わりにおいて、精神的な支援を含めたきめ細かい指導を行うことで、安心して在籍し、生活への不安や、学生生活への不満が蓄積しないよう配慮している。学生が中退を希望した場合も、学生に寄り添い、将来への見通しを共に考えていく。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
精神保健福祉学科	250,000 円	660,000 円	230,000 円	その他：施設費 200,000 円、 休学中の在籍料 (1 年間) 30,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
入学減免制度				
1. 入学希望者の父母・兄弟姉妹に本学園の在籍者または卒業生がいる場合は入学金のうち 50,000 円が免除				
2. 入学希望者本人が、本学園の在籍者または卒業生である場合は、入学金全額が免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表 本校のホームページ → 情報公開 → 自己点検・評価報告書 下記の URL から閲覧可能 https://furusawa.com/fukushi/images/report/r5_report.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
基本方針 ① 教育の質の確保・向上を図るとともに授業内容・教育活動を充実させる。 ② 高い国家試験合格率を目指す。 ③ より一層の就職率向上を図る。 ④ 学校運営全体の改善に活かす。
評価項目 ① 教育理念・目標 ② 学校運営 ③ 教育活動 職業教育、関連分野の企業 (施設) との連携等 ④ 学習成果 進路指導、国家試験対策指導等 ⑤ 学生支援 在校生・卒業生・保証人との連携等 ⑥ 教育環境 ⑦ 学生募集 ⑧ 法令遵守 個人情報保護対策等 ⑨ 社会貢献・地域貢献
評価委員会 ・ 校長から選任された外部委員 (企業等員) 施設から 2 名、卒業生 1 名。 ・ 学校評価項目内容について検討する他、最新情報等について企業と連携を図り、

意見交換の場としている。 学校関係者評価結果の活用状況 ・自己点検・評価をもとに学校関係者評価委員会で協議し今後の改善方法等を検討している。入学者の確保のためには、広く周知されることが必要との指摘があり、各関係機関との連携や、地域貢献活動への参加、卒業生との連携等積極的に導入していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地域活動支援センター 施設長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
障害福祉サービス事業所 代表	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
社会福祉協議会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表 本校ホームページ → 情報公開 → 学校関係者評価報告書 下記の URL から閲覧可能 https://furusawa.com/fukushi/images/report/r5_hyouka_report.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校のホームページにて公表 下記の URL から閲覧可能 https://furusawa.com/fukushi/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H134310000620
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校福祉リソースカレッジ広島
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 古沢学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
内 訳	第Ⅰ区分	0人	0人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
	第Ⅳ区分			
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期	
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人		0人
GPA等が下位4分の1	人	0人		0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人		0人
計	人	0人		0人
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。